

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 衣食住の生活 1 食事の役割と食習慣 2 中学生に必要な栄養を満たす食事 3 さまざまな食品とその選択 4 日常食の調理 5 食文化 6 献立づくり	27	◇生活の中で食事が果たす役割について考え、健康と食事のかかわりについて知ることができる。 ◇中学生に必要な栄養の特徴について考える。 ◇食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択できる。 ◇身近にある食品を用いて簡単な調理を考え作ることができる。 ◇地域性、日本の行事(文化)に関心を持つことができ、食事が表す意味を理解することができる。 ◇自分の食生活に関心を持ち、よりよい食生活を考えることができる。	○食事の役割や健康とのかかわりについて関心をもっている。 ○食品に含まれる栄養素について理解している。 ○食品表示について興味・関心をもっている。 ○食品や調理器具を適切に扱うことができる。 ○洗う、切る、加熱する、調味するなどの基本的な調理操作ができる。 ○定期考査 ○実技テスト	○栄養素の種類と働きや、食品の栄養的特徴を調べたりまとめができる。 ○加工食品の表示の意味を読み取ることができ、食品選択を適切に行える。 ○食品の保存について工夫して提案をすることができる。 ○食品群別摂取量のめやすを用いて、中学生の1日分の献立を作成し、生活レベルに合わせた献立提案をすることができる。	○食事点検から課題を見つけ、その解決方法に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、工夫した生活を送ろうとしている。 ○中学生に必要な栄養の特徴について関心を持ち、自分の食事と関わらせて考え、改善や工夫した食事を摂ろうとしたり、提案することができる。
B 衣食住の生活 3 生活を豊かにするものの製作	8	◇布を用いた物の製作を計画し、生活をより豊かにすることができる。 ◇裁縫の基礎・基本を身につけることができる。	○繊維について興味・関心をもつことができ、適切な布選択をすることができる。 ○なみ縫い、まつり縫い、ボタン付けなどの基礎的な技術を身につけることができる。 実技テスト	○用途に合った材料や道具を選択することができる。 ○裁縫道具を適切に扱うことができる ○目的に応じたデザインを提案できる。	○製作計画を立て、見直しをもって計画通りに製作を進めることができる。 ○より使いやすいようなデザインを自ら工夫し実践することができる。